



「赤心」

校長室だより

No.10 2/1 (月)

文責 田中 敏子

三学期が始まったと思っていたら、あっという間に、もう2月です。6年生の教室には、卒業式まであと〇〇日のカウントダウンの掲示が出ています。

1月は“いって”しまいました。2月も、ぼんやりしていると“にげて”いってしまうかもしれません。気を引き締めて、やるべきことをやっていきたいと思えます。それが、一日一日を大切にすることにもなります。



安茂里小学校の玄関には、春が来ています！

家が温かかった	道路が凍っていた	手の感触がなかった	スゲー寒かった	寒かった	寒かった
---------	----------	-----------	---------	------	------

節分・立春と、暦の上では春になりますが、まだまだ寒い日が続きます。

4年生の詩のように、子どもたちは道路が凍り手の感触がなくなるような寒さの中を歩いて登下校しています。子どもたちにとって「今日の学校、よかった！」となるように、家と同じように温かな学校となるように努めます。

“素敵な音楽会”



1月25日(月)に「素敵な音楽会」が安茂里小学校の体育館で開かれました。プロの演奏家の本格的な演奏会に接する機会の少ない私たちにとって、大変貴重な機会となりました。

演奏してくださったのはロイヤルチェンバーオーケストラから、

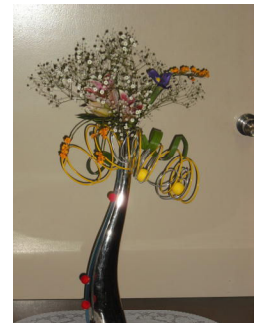
トランペット (宮田康雄さん、金城和美さん)

トロンボーン (村田秀文さん)

ホルン (猪俣和也さん)

ピアノ (松野良子さん) でした。

子どもたちがよく知っているアニメソングの「崖の上のポニョ」や「ディズニーメロディー」等は、一年生もノリノリでした。また、子どもたちの質問にも親切に教えてくださいました。



“音楽会” (校長室のお花)



「楽器はどうやって作るんですか？」 「ホルンはどうして丸まっているんですか？」 一年生からも質問が出ていました。ピアノの松野さんから、ピアノの練習を一日に7～8時間もやったことがあると聞き、驚きの声が上がっていました。

安茂里幼稚園の年長さんや保護者の方、地域の方たちも一緒にいましたが、音楽の中に入り込んでいました。

清水美希先生の指揮で、「安茂里小学校校歌」と「ふるさと」を気持ちよく歌うことができました。

インフルエンザが流行っていたため、聴衆全員がマスク着用という不思議な（というよりも異様な）雰囲気
な中에서도素晴らしい音楽の世界をくださったメンバーの方々に感謝です。

高嶋ちさ子さんも出演される演奏会は、2月7日（日）にホクト文化ホールで開かれます。

引き継ぎ



本日、PTAの「21年度専門部・支部引き継ぎ会」が行われます。

児童会も1月26日（木）6校時に、平成22年度の児童会長を決めるため
の立ち会い演説会及び選挙が行われました。

来年度初めて児童会に参加する3年生から、今年度、学校を引っ張ってきて
くれた6年生まで3～6年生が、候補者と推薦者の演説を真剣に聴き、投票

していました。

選挙結果は、今朝の放送で発表され 倉石佳樹 さんが児童会長に決定しました。今週中に、児童会の最
終委員会が行われます。今年一年間の児童会活動を振り返り、来年度に引き継がれていきます。

今年頑張った6年生、最後の締めくくりをしっかりと行うことを期待しています。

引き継ぐ5年生、候補者二人は自分から進んで立候補したと聞いています。学年全体で児童会を盛り立てて
ほしいと願っています。

二人の演説にあった「気持ちのよい挨拶あふれる学校」と「みんなと仲良くする・友達を大切にする学校」、
そして「緑がいっぱいの学校」を、全校で進めていきましょう。

「～なりたい、だから…」の気持ち

「学級だより」等で、子どもたちの日記や作文を読ませてもらっていると、子どもたち自身が、努力す
れば達成できそうな目標を持って生活することは大切だと強く感じます。

（きっかけ等は大人が設定することがありますが）、その子自身が願う“身につけたい力”に向かって頑
張る姿を、どんなに小さなことであっても認めてやりたい。

身近なところでは、例えば「縄跳び」。（3年生が頑張っているようで日記によく出てきます。）

連続して跳べる回数を増やしたい、だから、練習する。

二重跳びが出来るようになりたい、だから、練習する。

一生懸命やっているときの子どもは、ただ同じことを繰り返しているのではないのです。

「こうすればいいんじゃないか」「この動きはOKだから、あとはあそこをああやればいいんじゃないか」

「難しいな、思うように動かない」「ああ、こうすればいいんだ」「コツがわかってきたぞ」等、

いろんなことを思い、考え、工夫して練習をしています。そこが、とても大切だと思います。

そして、目標が達成できたときの喜びは大きく、次に進むエネルギーになります。

そんな子どもたちの喜びを創造できる授業づくり、子どもたちとの人間関係づくりに、さらに努めて
いきたいと思っています。